

Snowlight　AiREL Healing Seasons 冬シリーズ第２作

雪明かり　　歌詞　AiREL

雪が静かに降っている
朝の空の向こうに
白く穏やかな雪が
見渡す限り広がっている

太陽の光がやさしく触れる
屋根や木々の上に
ひとつひとつの雪が
風の中で踊っている

世界はゆっくり動いている
冬の光に包まれて
静かに息を吸うと
すべてが穏やかに感じられる

雪明かり
一日の中でやさしく輝く
雪明かり
暗闇をそっと追い払う
静けさを心いっぱいに感じて
その穏やかな光を残そう
雪明かり
やさしい雨のように降り注ぐ

窓いっぱいに広がる陽射し
温かな飲み物をひとつ
外の冬の世界は
静かで穏やかに佇んでいる

雪の上の足音が
道の向こうへ消えていく
遠くで鳥の声が聞こえ
そしてまた静けさが戻る

急がなくていい
どこへ向かうのか
すべてを知る必要もない
この瞬間の流れに身をゆだねよう

ああ…
冬の光が輝いている
ああ…
白い世界をやさしく照らす
ああ…
今は心を静かに
ああ…

雪明かり
一日の中でやさしく輝く
雪明かり
暗闇をそっと追い払う
静けさを心いっぱいに感じて
その穏やかな光を残そう
雪明かり
やさしい雨のように降り注ぐ

雪は鏡のように
朝の光を映している
千の小さなダイヤモンドが
純粋にきらめいている

冷たい空気がやさしく触れる
空の下にいる私の頬へ
それでもなぜか感じられる
言葉では説明できない温もりを

もしかしたら安らぎは
小さくゆっくりした瞬間に
あるのかもしれない
窓から差し込む光の中に
舞い落ちる雪の中に

だからもう一度深呼吸して
この瞬間をそのまま感じよう
急がなくていい
今日は自分の時間でいい

雪明かり
一日の中でやさしく輝く
雪明かり
暗闇をそっと追い払う
静けさを心いっぱいに感じて
その穏やかな光を残そう
雪明かり
やさしい雨のように降り注ぐ

ああ…
雪明かりを眺めて
ああ…
静かな輝きを感じて
ああ…
あなたの周りには安らぎがある
ああ…

午後がゆっくり過ぎていく
冬の空が淡く染まる
陽射しが少しずつ変わり
雪の道を照らしていく

そしてこの静かな瞬間に
ようやく気づく

時には答えなんて必要ない
ただそこにいるだけでいい

冬の空の下で呼吸すること
光が輝くのを眺めること
静かな世界に身をゆだねて
心の中にあるものを手放すこと

雪明かり
一日の中でやさしく輝く
雪明かり
思考をそっと導いていく
静けさで心を満たして
冬の光をそのまま残そう
雪明かり
雪の中で再び輝いている

雪は静かに降り続ける
世界は穏やかに輝いている
やさしい冬の時間が
銀色の光に包まれている

ほんの少し目を閉じて
静けさを心に吸い込む

雪明かり…

静かに輝いて…